

内浦公民館だより

令和4年6月10日発行

〔発行〕

内浦公民館

〒919-2351

高浜町山中 104-4-2

TEL.0770-76-2007

FAX.0770-76-2008

E-mail

Uchiura\_cc@town.takahama.fukui.jp

# Artfull うちうら

(2022) <vol.105>

内浦公民館講座

普通救命講習教室



\*QRコード  
広報誌をカラーで  
ご覧いただけます。



5月31日(火) 9:00~12:00

普通救命講習は定期的を受講するのが望ましいとされています。多くの皆さんに参加して頂きました。初めの1時間はWEB講習で、会議室のプロジェクターに映して応急手当の意義・救命の連鎖・心肺蘇生・AED(自動除細動器)の使い方などを学習しました。後半は2階多目的ホールに移動し、若狭消防署署員の指導のもと、実技講習を行いました。一次救命処置として胸骨圧迫とAEDの操作を練習しました。実際に胸骨圧迫を行うと一人では体力が必要ですし、回数が増えるにしたがってテンポが速くなってしまいう傾向があります。周囲の人に代わってもらって続ける等、声掛けが大切な事も学習できました。



●開館時間 午前8時30分~午後10時 ●利用時間 午前9時~午後9時30分  
※夜間利用が無い場合は午後5時00分で閉館いたします。

昨年じゅけいじの春のハイキングでは小黒飯の壽奎寺の説明をしていただきました。その際【壽奎寺の桜のライトアップ】を紹介しました。忠住一雄さんが【壽奎寺の桜のライトアップ】を始められてから10年以上になるそうです。照明等を工夫されて毎年綺麗な桜を見ることが出来ます。ライトアップされた桜が田んぼの水面に写って幻想的な風景を楽しめます。今年は舞鶴からも見に来られたそうです。

『青い空と桜が水面に映る夕方もいいですよ。水面に映るよう、田んぼに水を張る等整理を早くにしてくださるから、その方の協力がなければできないんです。』との事です。自然を活かした素敵なイベントですね。忠住さん宅はバラの花を中心に色々な花を育てたり、ハロウィーン・クリスマス等の飾り付けをされていて、道行く人を楽しませておられます。



現在高校1年生の野口功登のぐちなるとさんが、近くの海で捕れた珍しい魚を越前松島水族館に提供されていると聞き、その経緯を功登さんのお父さんに伺いました。

功登さんは2、3歳の頃から魚に興味を持ち、捕れた魚の飼育を始めたそうです。旅行で行った富山の魚津水族館で、自分の飼育している魚が何という魚か教えてもらったのがきっかけで、近くの越前松島水族館を紹介してもらいました。お父さんは当時小学4年生だった功登さんに自分で水族館の方に話しをしてみるようにすすめ、そこから越前松島水族館との交流が始まったのだそうです。今までに【日本海側で初のクロウミガメ】を保護したとの事。スクープです！！ネットワークが広がり、京大やニフレルからも魚の依頼が来るようになったそうです！今は大きな水槽に何を飼育しようか考え中で、釣りも好きだという功登さんは【カジキ】や【サメ】を候補に挙げられました。これからも続けていきたいとの事で楽しみです。海の環境調査にも役立つ、すごい事だと思います。

小黒飯区のサロンでお会いした濱川和彦さんにお話しを伺いました。

濱川さんには以前、内浦公民館で開催された内浦地区敬老会・文化祭にご出演いただいたことがあります。ボランティア活動をされていることも皆さんご存じだと思います。濱川さんはボランティア活動の中で、歌を歌う事を進められているそうです。「年とともにだんだん大きな声を出せなくなったりするが、歌う事で声が出るようになり、のどの筋肉を鍛えて誤嚥予防になります。童謡唱歌などは皆さん楽しんで歌っておられます」とのことでした。楽しみが健康な体づくりに繋がっているのがいいですね。

一人一人の活動が周りの人達に広がって、次につながる活動だと思いました。お話しを聞かせていただきありがとうございました。



今回は 小田雅久仁 著『残月記』です。

奇想かホラーかファンタジーか、「月」に魅せられた著者が描く神秘的でパラレルワールドを想起させる3篇の物語です。

そして月がふりかえる 幼いとき、月が自分だけを追いかけてくるとの強迫観念を抱いていた大学教授の高志。ある夜、妻の詩織と幼い子供を連れてファミレスへ食事に来た。トイレを済ませ席に戻ろうとしたとき、レストランのすべての人が食い入るように月を見上げていた。視線を向けると月が少しずつ回転し、かつて見たこともない月の裏側を晒して静止した。テーブルに戻ると妻が「どなたですか?」と言った。隣には自分に似た男が座っていた。高志は月の裏側が表となる「もう一つの世界」で「もうひとつの自分」の人生を歩む運命に陥ってしまったことに気が付く。自分が入れ替わったという証明の手立てがなく、絶望の淵に立ちながらも、高志がたった一つ願ったことは何だったのか?

月景石 30代の女性・澄香は叔母の形見である月夜の風景が書いてあるような「月景石」を持っていた。澄香が9歳の時に他界した叔母は、枕の下に月景石をおいて眠ると悪夢を見るから絶対にしては駄目だと言っていた。しかし、同棲相手の斎藤から言われて枕の下に石を置いて眠ると、イシダキという胸に石を埋め込まれ、月に生きる種族として捕らわれの身となっているのだった。月世界のすべての生物を生かしているという大月桂樹が枯れてきたため、再生のために多くのイシダキが必要だと言われているが、ダークでグロテスクな異世界が展開します。

残月記 近未来の日本。月昂症という感染症が発生し、罹ったものは満月になると暴力性を増し、それが様々な犯罪を引き起こし、その逆に新月の時期には活動が弱まり死に至ることもあるという。月昂を発症すると2年後には2人に1人が死に、3年後に生き残るのは3人に1人、5年後に生き残るのは6人に1人といわれる。自然災害をきっかけに日本政府は憲法を停止し一党独裁体制となっておいた。政府は感染症に罹患したものを見つけ次第、療養所に送ることにしたが、それは名ばかりの収容所で生涯を送ることを強制する政策であった。冬芽も、27歳のときに発症し、治安当局に拘束されてしまう。身長181センチ体重90キロという体躯を持ち、剣道の有段者である冬芽は、政府が独裁政党の上級党員たちとその家族ための娯楽に開催する剣闘会への出場を促される。それは全国の療養所から選ばれた月昂者(月昂に感染した人)たちのみで繰り広げられる剣闘会であった。剣闘士には月昂での致死率を下げる薬が支給され、一試合勝つたびに月昂者の女性のなかから選ばれた「勲婦」を抱くことができるのであった。試合を重ねるうちに、冬芽の心には「引退できるノルマの30戦を勝ち抜き、なじみとなった勲婦・ルカと条件の良い療養所で暮らす」という夢を描くようになる。何人もが命を落とす、映画『グラディエーター』を彷彿させる決闘が展開していきます。冬芽とルカは一緒に暮らせる時がくるのか。難病と究極の恋愛、ディストピアな全体主義国家のなかで、二人はどんな結末を迎えるのでしょうか。



3篇とも主人公が月での世界と地球での世界を行き来する描で、どちらが現実でどちらが虚構(想像)なのか、判らなくなってきた、読者自身の意識を揺さぶられます。満月の夜が怖くなるかもしれません。そして3篇の主人公はどんな絶望の中にあっても、決して諦めない。その意志を「残月記」の冬芽の口から放たれます。『生きるのだ。生きられるかぎり生きるのだ。』

★内浦地区の各サロンにおじゃまして活動されている様子をご紹介します！

小黑飯サロン

【開催日】毎月第3水曜日

【場 所】若狭高浜漁業協同組合小黑飯事務所

おおい町フィットネスセンターの三木先生が、ロコモティブシンドローム（活動機能低下症候群）を防ぐ為の運動とストレッチの指導をされました。先生の説明の後実際に動いて動きにくい箇所などを確かめました。三木先生は『体操ですが、サロンとか集まりに参加することが健康面の免疫力アップになります』と言っておられました。皆さんもぜひ参加して免疫力アップしましょう！



★サロンは高浜町社会福祉協議会の支援で実施されています。

内浦公民館講座

四季の過ごし方～夏～教室

6月4日（土）13:30～15:00

初めに【陰陽五行・マクロビオティックとは何か】の説明を聞きました。暑い夏にむかって体の調子を整える食事について説明を受けた後、トマトを丸ごと使ったスープを頂きました。体にため込んだ古い塩を溶かす作用のあるスープです。参加された皆さんは興味深く味わいながら、食べ物が体に与える影響について質問されていました。



＊【身近な動物の写真】を募集します！



- 募集期間：6月11日（土）～6月30日（金）
  - 写真サイズ：2L～A4
  - 展示期間：7月5日（火）～7月31日（日）
- ＊内浦公民館で展示します。  
詳しくは内浦公民館にお問い合わせください。

内浦公民館講座のお知らせ

月	日	曜日	講座内容
6	14	火	スマホの使い方教室①（10:00～12:00）
	18	土	スマホの使い方教室②（10:00～12:00）
	21	火	元気あっぶ生き活き倶楽部（13:30～15:00）
			交通安全教室①（15:00～1時間程度）
	26	日	ハーブのある暮らし教室（13:30～15:00）
	28	火	男の体操教室（13:30～15:00）

【お願い】新型コロナウイルス感染症防止の為、受講時には原則としてマスクの着用、アルコールによる手指の消毒をお願いします。また、受講前には必ずご自宅での検温をお願いいたします。（体温が37.5℃以上や体調が悪い場合はご遠慮ください）  
＊ご利用においては、定期的な施設内の換気にご協力ください。